

会 議 要 旨

会 議 名	第1回館山市地域公共交通会議
開 催 日	平成22年10月20日（水）午後3時30分～5時10分
開催場所	館山市役所 本館2階会議室
出席者	[委員] 17名 [館山市] 金丸市長 市長公室長 企画課長 企画課職員
公開・非公開の別	公 開
傍聴人数	5名
	<p>1. 開会</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>3. 委嘱状交付</p> <p>4. 自己紹介・事務局紹介</p> <p>5. 館山市地域公共交通会議設置要綱について</p> <p>6. 議事</p> <p>(1) 会長選出・副会長の指名 出席委員の推薦により、会長は関館山市副市長が選任された。 関会長の指名により、副会長は轟日本大学理工学部教授が選任された。</p> <p>(2) 講話「地域公共交通の動向について」 轟日本大学理工学部教授</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイカー利用者の増加による公共交通の利用人員の減少により、バス路線の便数の削減等、悪循環に陥っている。 ・交通事業形態の変遷 国と交通事業者の関係が、申請、認可の関係から、地域の実態に即した計画、運行へ。 ・新たな地域公共交通事例の紹介 費用負担のあり方についても議論が必要。 ・交通基本法について 「移動権の保障」等ポイント説明、クルマを使える人と使えない人の格差社会の解消他。 <p>【まとめ】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の視点に立った施策が重要。 ・事業者の利益と利用者の利益を考え、知恵を出していくことが必要。 ・観光客と地域住民のニーズは違うので、見極めが大事である。 </div>
事務局	(3) 館山市地域公共交通会議運営規程(案)について 承認

<p>A委員</p>	<p>館山市地域公共交通会議運営規程のポイントを説明。 この規程は平成22年10月20日から施行する。</p> <p>(質問)</p> <p>提案の運営規程の条項の修正を求めるものではないが、委員の発言が、1字1句そのまま公開される訳ではないので、公開される前に、発言者に確認するのか、それとも、事務局の方で文の責任という形で公開するのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>発言者に確認をさせていただきたいと考えている。ホームページ等に掲載する際には、個人名は伏せさせていただく。発言いただいた委員の方には要旨(案)をお送りし、確認する。</p>
<p>館山日東バス(株)</p> <p>鏡浦自動車(株)</p> <p>館山中央交通(株)</p>	<p>(4) 各公共交通事業者の現況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館山市を起終点にする路線については6路線、その他、南房総市を起終点にする2路線、高速バスの千葉までの路線を運行している。 ・中心市街地の衰退や、郊外への大型店の進出等により、路線は中心市街地を回っている関係で、利用者は毎年減少し、減収傾向にある。 ・関係市町村、国、県の支援をいただき、路線を維持している。 ・館山市において、千葉県が取り組んでいる、多目的観光栈橋も完成し、館山駅から栈橋間の交通について、ご協力できればと考えている。 ・平成に入り、バブルの崩壊と共に需要は下降線をたどり脱却できずにいる。 ・お客様のより豊かな利便性を模索しながら、改善を追求しているのがタクシー事業だと考えている。 ・運賃については各社毎で減車を行い需給調整を行いながら、努力を重ね事業の継続に努めてきたというのが現状。館山市のタクシーは平成3年がひとつのピークで、100%とした時、平成10年は58.5%、平成21年は38.5%と大きく後退している。 ・タクシーの主な特性としては玄関から玄関への輸送であり、路線の定まっていない所の補充、主な施設や駅等、人の集まる所からの接続輸送や交通弱者の移動手段ということで営業を行っている。路線バスと違って、タクシーには各車両に無線が配備され、各機関との連絡も容易に出来る。安心してご乗車できる身近な乗り物ではないかと考えている。こうした中、地域活性化を図り各機関と協力し、経営の健全化を目指している。 ・この地域の多目的栈橋の完成運用は活性化に繋がることとして、大型客船等接岸時には利用の有無に関わらず待機し、船客の利便性を図ってきた。 ・タクシー事業が低迷する中で事業を存続し公共交通の使命を全うすることが地域の活性化に繋がり、地域に貢献できると考え、協力を惜しまないが、タクシー事業者が活力を失い撤退する様なことになれば地域や交通弱者には大きな影響を与えることになる。

<p>南房タクシー(株)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー事業は非常に厳しい状態である。収入は対前年ですべてマイナス。今後もマイナスの傾向が続いていくと考えている。 ・千葉県内各地で、デマンド型の乗り合いタクシーが始まり、実証実験を行っているということで、タクシーの特性を活かした従来のタクシー事業に付加価値を付けた住民に役立つ方法はないかと考えているところである。 ・公共交通は誰もが利用しやすく、便利でありさえすれば乗客は減らず、事業は続いていく訳だが、バブル以降厳しい状況が続いている。業種によっては助成があるという事も聞いているが、タクシーに関して助成等はない。 ・タクシーは将来に向けて無くなるとは思っていないが、電話1本ですべても応じられる体制を整えるというのは非常に難しくなっている。 ・給料に関しては、歩合給という独特の世界の中で乗務員の確保も非常に難しく高齢化が進んでいる。少子高齢化の館山で、館山の足として、乗り合い輸送サービスの提供について、私共も良い方法が探れればと考えている。
<p>J R 東日本 レンタリース(株)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関しては、鉄道、バスが最大の輸送能力がある。特急列車が少なくなって、レンタカーについてもマイナスという形になっている。 ・夏に市内の観光施設の駐車場で2日間チェックした。東京や県外のレンタカーが非常に多いが目立ち、これではいけないと痛感している。私共でも企業努力をやっている最中である。 ・鉄道とタイアップしたメニューや利用促進に向けたPRなど、現在計画を練っているところ。 ・県内乗り捨て料金についても今後勉強していく。
<p>(株)トヨタ レンタリース千葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の7月1日から8月30日までに前年比111%と、545組のレジャーのお客様をお迎えした。毎年、増えてきているが、オフシーズンに大分数字が落ち込むので、どのように集客していくか、逆にどのように館山を売っていくかが今後の課題。 ・多目的桟橋について、にっぽん丸に乗っていたお客様に船上からご連絡をいただいたが、駅までのラインが確保されていないということが大きく影響していた。 ・タクシーの会社も分からない。バスも運行していない。ということだったので、この先多目的桟橋をご利用されるお客様に交通の便について分かりやすくしていただきたいと考えている。
<p>事務局</p>	<p>(5) その他</p> <p>— 事務局からの説明 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ① JR東日本旅客鉄道株式会社 12月4日のダイヤ改正について ② 廃止代替バス 平群線、丸線の現状について ③ 現在運行している館山市のスクールバスの現状について <p>7. その他 次回開催予定について日程調整後開催予定 交通事業者の方へ議題等照会させていただく。</p> <p>8. 閉 会</p>